

CA ARCserve Central Host-Based VM Backup

構築ステップ ガイド

CA Technologies
ストレージ・ソリューション事業部

v1.0



はじめに

このドキュメントに含まれる特定の情報は、CA Technologiesの製品の全体的な方向性に関する概略を説明しています。このドキュメントは、(i)既存または将来作成される CA のソフトウェア製品に関するライセンス契約書またはサービス契約書において、CA Technologies またはライセンシーの権利および / または義務に影響を与えたり、(ii)CA Technologiesのソフトウェア製品のいかなる製品ドキュメントや仕様書を修正したりするためのものではありません。このドキュメントに記述された機能の開発、リリース、時期についての決定権は、CA Technologies のみが有します。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書で参照するその他すべての商標、商号、サービスマーク、およびロゴは、それぞれの会社に属します。

本書は情報提供のみを目的としています。CA Technologies は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。CA Technologies は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。CA Technologies は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、CA Technologiesがその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

VMware ホストベースの保護

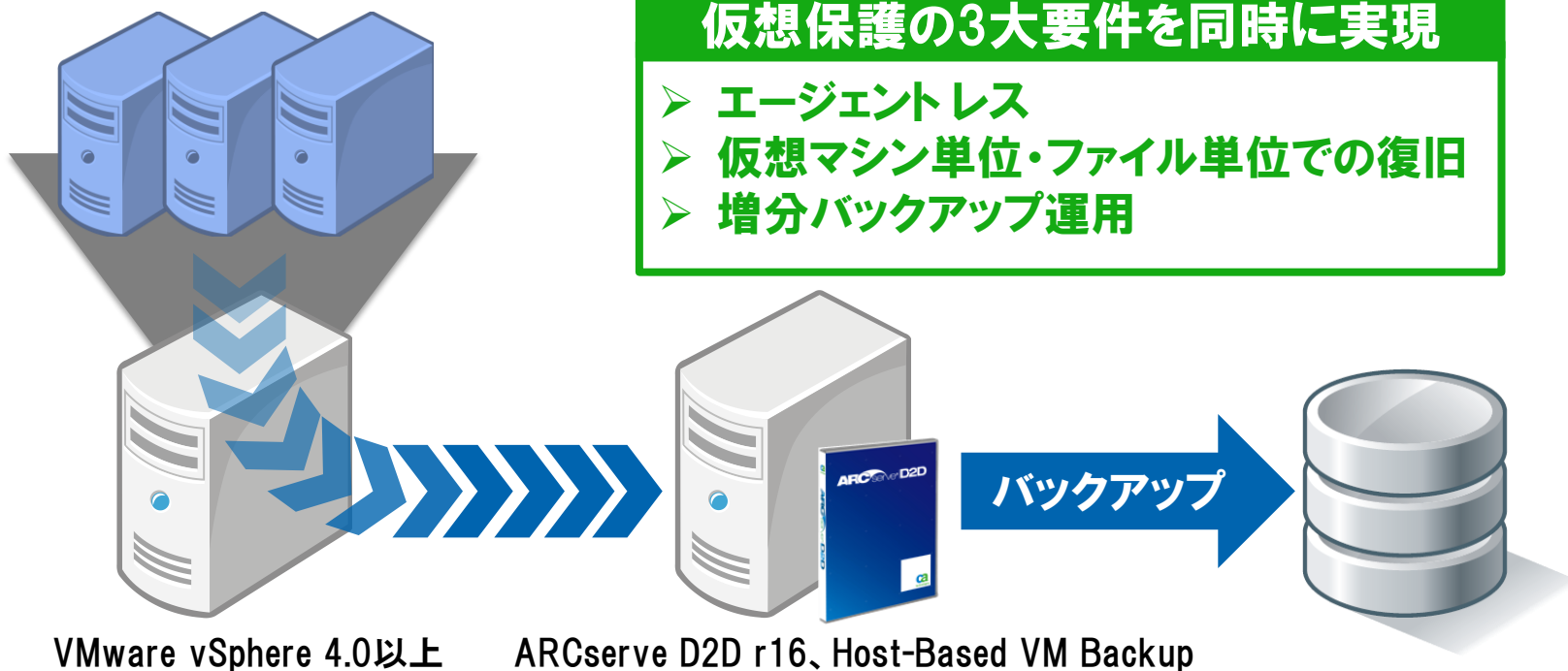
ARCserve Central Host-Based VM Backup

効果

- バックアップ中のVMware vSphereの負荷を軽減
- ゲストOSのバックアップがより簡単・高速に！

仮想保護の3大要件を同時に実現

- エージェントレス
- 仮想マシン単位・ファイル単位での復旧
- 増分バックアップ運用



バックアップ環境の構築は、簡単3ステップ

STEP 1

バックアップ プロキシに製品を導入

- ARCserve D2D（VDDKを同梱）
- ARCserve Central Host-Based VM Backup※

STEP 2

バックアップ対象のノードを追加

- vCenter/ESXを指定して一括検出
- 新規に追加された仮想マシンは自動検出
- **仮想マシンへの製品インストールは不要！**

STEP 3

ポリシーの作成と割り当て

※ ARCserve Central Host-Based VM Backupはバックアップ プロキシ以外に導入する事も可能

ノードの追加

The screenshot shows the CA ARCserve Central Host-Based VM Backup web interface. The browser address bar shows `http://localhost:8015/hostbasedvmbakup/`. The page title is "CA ARCserve Central Host-Based VM Backup". The user is logged in as "Administrator".

The main content area is titled "ノード" (Nodes). It features a navigation pane on the left with options like "ホーム画面", "ノード", "ポリシー", "リストア", "環境設定", "ログの表示", "CA サポート", and "Virtual Standby".

In the "ノード" section, there are three main action buttons: "更新" (Refresh), "追加" (Add), and "削除" (Delete). The "追加" button is highlighted with a red box. A tooltip is displayed over the "追加" button, containing the text: "オート ディスカバリの結果からのノードの追加" and "vCenter/ESX から仮想マシンをインポート".

Below the buttons, there is a table with columns: "ポリシー", "仮想マシン名", and "vCenter/ESX". The table contains one row: "新規ポリシー", "WindowsServer2...", and "vCenter(192.168...".

At the bottom of the page, it says "ノード総数 = 1 (フィルタ適用済み 0/1)".

ノードの追加

認証情報を入力

仮想マシンを検出

新規に追加される仮想マシンを自動検出

vCenter/ESX から仮想マシンをインポート

ノードのディスカバリ
vCenter/ESX サーバ情報を指定し、[接続] をクリックして Windows オペレーティング システムの仮想マシンのディスカバリを実行してください。

vCenter/ESX ホスト: 192.168.1.200 ポート: 443
ユーザ名: administrator プロトコル: HTTP HTTPS
パスワード: ●●●●●●●●

ノード名 ▲	仮想マシン名	vCenter/ESX
W2K3-VM	WindowsServer2003	192.168.1.200(192.168.1.99)
W2K8-VM	WindowsServer2008	192.168.1.200(192.168.1.99)

オート ディスカバリ リストに vCenter/ESX サーバを自動的に追加します。

ポリシー

The screenshot displays the CA ARCserve Central Host-Based VM Backup web interface. The top navigation bar includes the CA Technologies logo, the product name "CA ARCserve Central Host-Based VM Backup", a "更新" (Refresh) button, and the current time "UTC+09:00(日本標準時)". The user is logged in as "Administrator".

The left sidebar contains a navigation menu with the following items: ナビゲーション, ホーム画面, ノード, **ポリシー** (highlighted with a red box), リストア, 環境設定, ログの表示, CA サポート, and Virtual Standby. Below the menu is a link for "新しいタブの追加".

The main content area is titled "ポリシー" and features a toolbar with buttons for "更新", "新規" (highlighted with a red box), "編集", "削除", and "今すぐ展開". Below the toolbar is a table of policies:

<input checked="" type="checkbox"/>	名前 ▲
<input checked="" type="checkbox"/>	新規ポリシー

The right pane shows the configuration details for the selected policy, titled "バックアップ設定". It is divided into several sections:

- 保護設定**
 - VM バックアップ プロキシ ホスト: hostb-vmj
 - ユーザ名: administrator
 - プロトコル: HTTP
 - ポート: 8014
 - バックアップ先: \\192.168.1.3#backup
 - 復旧ポイント: 31
 - 圧縮レベル: 標準圧縮
 - 暗号化アルゴリズム: 暗号化なし
 - スロットル バックアップ: 制限なし
- スケジュール**
 - 開始時刻: 2011-08-16 20:48:00
 - 増分バックアップ: 繰り返し間隔 1 日
 - フル バックアップ: 実行しない
 - 検証バックアップ: 実行しない
- 拡張**
 - ログの切り捨て: SQL Server: 実行しない
Exchange Server: 実行しない
- バックアップ実行前/後の設定**
 - アクション: 実行するスクリプト/コマンドが提供されていません

ポリシーの作成

ポリシー名: 新規ポリシー

バックアップ設定 | 環境設定

保護設定

▼ **バックアップ先**
ファイルのバックアップ先を選択してください。
¥192.168.1.3¥backup
バックアップ先が変更されたので、次のバックアップの種類を選択してください。
 フル バックアップ 増分バックアップ

▼ **D2D VM バックアップ プロキシ**

ホスト名/IP: hostb-vmj
ユーザ名: administrator
パスワード: ●●●●●●●●
プロトコル: HTTP HTTPS
ポート: 8014

▼ **復旧ポイント**
CA ARCserve D2D で保持する復旧ポイントの数 (フル、増分バックアップの数) です。この数を超えると、最も古いバックアップが削除されます。
31

バックアップ先を指定

バックアップ プロキシを指定

D2Dのバックアップ設定画面と同じUIを提供

バックアップ処理の流れ

STEP 1 仮想マシンのスナップショットを取得

STEP 2 変更ブロックのみをバックアップ

- VMware vSphereのCBT機能を利用

STEP 3 ファイル システム カタログを作成

- ファイル単位、データベース単位のリストアを実現

STEP 4 取得したスナップショットの削除

仮想マシンのスナップショットを取得

The screenshot shows the vSphere Client interface. The left pane displays a tree view with 'VCENTER' expanded to show 'ARCserve' and '192.168.1.99', which contains two 'WindowsServer2008' VMs. The right pane shows the 'WindowsServer2008' VM details, including a 'はじめに' (Getting Started) tab with text about virtual machines. At the bottom, a task list shows two completed tasks: '仮想マシンのスナップショットの作成' and '仮想マシンの再構成', both targeting 'WindowsServer2008' and completed by 'Administrator'.

仮想マシンについて

仮想マシンは、物理コンピュータと同様に、オペレーティングシステムおよびアプリケーションを実行するソフトウェアコンピュータです。仮想マシン上にインストールしたオペレーティングシステムのことを、ゲスト オペレーティング システム(ゲスト OS)と いいます。

仮想マシンはそれぞれ隔離されたコンピュータ環境であるため、それらの仮想マシンを、デスクトップまたはワークステーション環境として、あるいはテスト環境として使用したり、サーバア

名前	ターゲット	ステータス	詳細	開始者	vCenter Server
✓ 仮想マシンのスナップショットの作成	WindowsServer2008	完了		Administrator	VCENTER
✓ 仮想マシンの再構成	WindowsServer2008	完了		Administrator	VCENTER

スナップショットの作成

初回はCBTを有効可

エージェントレスでもUIを提供

各仮想マシン毎の
Web UIはバックアップ
プロキシが提供

エージェントレスでも
増分バックアップ可能

The screenshot shows the ARCserve D2D web interface in a Windows Internet Explorer browser. The address bar shows the URL: `http://hostb-vmj:8014/index.html?location=vsphere&vmname=WindowsSe`. The page title is "ARCserve D2D" and the subtitle is "VM バックアップ プロキシ HOSTB-VMJ によって保護されている仮想マシン W2".

The main content area displays the VM host name: "VM ホスト名: W2K8-VM (VM 名: WindowsServer2008)". Below this is a "ジョブ モニタ" (Job Monitor) section showing a scheduled backup: "次にスケジュールされたバックアップ: 2011/9/8 午後 8:48:00 増分バックアップ".

A progress bar shows the backup is 100% complete (8.42 GB / 8.42 GB) with an estimated remaining time of 00:00:00. A "詳細" (Details) button is visible.


Below the progress bar, there are three status items:

- 前回のバックアップ - 増分バックアップ** (Previous backup - Incremental backup): 2011/8/25 午後 2:17:48. Status: Success (green checkmark).
- 復旧ポイント** (Recovery point): 31 個中 8 個の復旧ポイント. Status: Warning (yellow exclamation mark).
- バックアップ先の容量** (Backup destination capacity): バックアップ先には 87.99 GB の空き容量があります。パス: *#192.168.1.3*#backup*#WindowsServer2008@vCenter. Status: Success (green checkmark).



At the bottom, a bar chart shows the backup size (5.72 GB), other data (314.66 GB), and free space (87.99 GB).

リストア

リストア


 復旧ポイントの参照

バックアップ場所

バックアップ場所の選択  


復旧ポイントの日付

9月 2011						
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8



時刻	種類	名前	カタログ ステータス
午後 8:57:54	増分バックアップ		作成済み
午後 8:35:06	増分バックアップ	カスタマイズされた増分バックアップ	作成済み

名前	更新日時	サイズ
C:		40.00 GB
SqlServerWriter		26.06 MB
W2K8-VM		
SQLEXPRESS		
master		
model		
msdb		



ファイル、フォルダ単位だけでなくデータベース単位の復旧も可能